

財務の敏捷性は 財務の可視性から

財務部門を再考することにより、新たな成長の推進、柔軟な動き、あらゆる変化への対応、あらゆる課題の打開につなげることができます。

新しい、破壊的、デジタルビジネスモデルがここに... そして支配的な役割を 占めています

今日の組織は、あらゆる方面からの競争の激化に直面しています。破壊的なビジネスモデルとデジタルネイティブ企業が市場シェアを奪っており、従来の組織は迅速に対応するか廃れるかの2択を余儀なくされています。

幸いなことに、混乱の中にチャンスがあります。

- ビジネスの成長を促進する純新規収益源
- 製品・サービスとチャネルの多様化によるレジリエンス
- 新規市場および新興市場への参入による成長機会

しかし、課題もあります。

将来に備えた企業を構築するには、収益性を維持し、コストを最適化しながら、各機能を大規模に転換して構築することが求められます。

混乱への適応：各業界に見られる変動

業界	従来	将来に向けた動き
小売	実店舗	→ デジタルおよびオンデマンド
ヘルスケア	対面訪問	→ バーチャルケアモデル
金融サービス	小切手と支店での取引	→ デジタル決済とオンライン取引
交通	ガソリン車 (MT または AT)	→ 電動・ドライバーレス
製造業	ロジスティクスと在庫管理	→ 3D プリント
通信事業者	携帯電話端末販売	→ レンタルおよびサブスクリプションサービス

将来を見据えた企業を構築するには、 企業経営のあり方を 変える必要があります。

つまり、企業の支え柱である財務も変化することが必要です。

財務は、組織全体、および組織の垣根を越えて、解決策を得るための頼れる情報源になりつつあります。

今、財務は、過去の報告者としての役割から、詳細な情報に基づく機敏で先見性のあるビジネスパートナー、**新しい収益源、成長、および収益性を促進する**パートナーへと変革を遂げる必要があります。

財務部門に対する意思決定者の声

53%

財務部門の対応は後手に回っており、情報共有が最適化されていないと考えています。

76%

組織横断的な信頼できる唯一の情報源がなければ、主要なビジネス目標を達成することは困難であると考えています。

34%

財務タスクが自動化されている一方で、自動化されていないタスクの60~80%も自動化できる可能性がある、とされています。

Source: Accenture—The CFO Reimagined

財務モデル、財務プロセス、 財務報告などの過去の役割だ けでは、もはや不十分です。

破壊的な状況下で成功し、繁栄するために、組織はデータとインテリジェンスを必要としています。そして、財務は、その情報を迅速かつ正確に提供するために進化し、革新を起こす必要があります。

財務を再考しなければならない一方で、その変革は容易ではありません。

財務部門が直面している課題



取締役会、投資家、利害関係者への四半期報告および年次報告の変化への適応



コンプライアンスおよび規制報告の高まるニーズへの対応



会計業務への新ルールの適用



振り返りの報告を行う役割から予測機能およびシナリオプランニングを担う役割への転換



スマートプロダクトと顧客の意思決定を可能にする多面的な収益性の分析



従来のコストセンターとしての役割から、データ主導の意思決定をサポートする戦略的ビジネスパートナーへの変革

情報に基づいた迅速な
意思決定を実現する

財務データ基盤

すべてのデータにアクセスできるようになると、組織全体の利害関係者が意思決定をより適切かつ迅速に、そして自信を持って行えるようになります。財務データ基盤によって、そのアクセスと可視性を実現し、組織全体のデータを単一の信頼できる監査可能な情報源へと調整することができます。

- ✓ より迅速で正確な洞察により、洞察までの時間を短縮し、俊敏性の高い事業運営を実現
- ✓ 組織のパフォーマンスの全体像に基づくより優れた予測機能により、ビジネスプロセスを加速
- ✓ きめ細かいレベルの業務データ活用により、組織をより深く多角的に捉えることを実現
- ✓ 複数のユーザーが既存の作業を迅速かつ正確に利用できるようにし、自動化により手作業の分析とエラーを削減
- ✓ ビジネスへの潜在的な影響を把握して自信を持って立ち上げることを可能にする、新しい製品ラインとサービスの影響予測
- ✓ 将来のビジネス上の意思決定に力を与える新たな ML および AI アプリケーション向けの環境を構築

導入事例：

財務データ基盤により、 組織の変革を推進

課題

ある多国籍銀行および金融サービス会社は、著しい成長を遂げていました。その結果、金融システムがバラバラになり、報告や規制遵守のための静的なデータリポジトリが広まりました。

一方、各国の規制当局はより厳しくなり、バランスシートの詳細な情報を要求されることも多くなっていました。

解決策

テテラデータは、様々なソースからのデータを調整するために、単一の真実の源となる財務データ基盤を作成しました。以下のことを実現しました。

5日

ワークフローの自動化を使用して月末業績を生成するのにかかる時間

8,000万 100%

600のソースからわずか60分で統合した取引データポイントの数

さまざまなレベルでのエンドツーエンドのフロントオフィス / バックオフィスの会計データの調整。すべての事業部門と10億を超えるトランザクションをカバー

テラデータが、 財務データ基盤の作成を 容易に

財務システム間でのデータの迅速な統合（Oracle、PeopleSoft、SAP など）を、Teradata Vantage™ データプラットフォームと構築済みのコネクタおよびアクセラレータを使用して、ほぼリアルタイムに実現

事前構築済みの財務データモデルの活用により、すぐにデータの受信と構造化を行え、制御されたユーザーフレンドリーなアクセスが可能に

データアナリストとデータサイエンティストによる大量のデータに対する大規模な分析モデルの構築および実行を実現する、データおよび分析ツールのエコシステムとのパートナー統合

非財務レガシーシステムのマッピングの促進により、企業の全体像把握を実現

さまざまなソースのデータを調整して、組織全体でアクセス可能な、規定に準拠した信頼できるプラットフォームへと集約

データのパワーで財務の可能性を最大限に引き出す

組織を変革し、財務部門を詳細な情報に基づく機敏で先見性のあるビジネスパートナー、新しい収益源、成長、および収益性を推進するパートナーとして捉え直すために必要なパワー、スケーラビリティ、エンタープライズアナリティクスを手に入れましょう。

詳しくは、[teradata.jp](https://www.teradata.jp) をご覧ください。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 Teradata.jp

Teradata のロゴは商標であり、Teradata はテラデータ・コーポレーションおよび／またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。テラデータは、新しいテクノロジーやコンポーネントの登場に合わせて製品を改善し続けています。そのため、テラデータは、各種仕様を事前の通知なく変更できる権利を持つものとします。地域や市場によっては、本書に記載されている機能、仕様、動作の一部を利用できない場合があります。詳細については、テラデータの営業担当者、または www.teradata.jp よりお問い合わせください。

© 2022 Teradata Corporation All Rights Reserved. Produced in U.S.A. 04.22

